

環境保護

プリンセス・クルーズ社は環境保護の立場から、プラスチック製品を極力使用しないように配慮しており、バーなどで使用するストロー、マドラーは紙や木片から作られています。

また、プリンセス・クルーズ社では、海の環境保護に多大の注意を払っています。たとえば、プラスチック、紙、ガラス、缶などの固形廃棄物を海に投棄することは禁止しており、船内の焼却炉等で処理不能な廃棄物は寄港地にて処理業者に委託して処理しています。ご乗船のお客様にも海へのゴミの投棄は慎んでいただきますようお願いいたします。

電池はフォトギャラリーの所定の場所にお捨てください。また、注射器等の使い捨て医療品をご使用になったお客様は、捨てる前にルーム・スチュワードへご相談いただくようご協力をお願いします。

安全に関する情報

●はじめに

プリンセス・クルーズでは、乗船客および乗務員の安全と健康を最優先事項に掲げています。以下の文章をご一読いただき、その手順についてご確認をお願いします。これらの内容についてご質問がありましたら、ルーム・スチュワードまたは船のオフィサーにおたずねください。出航に先立ち、全ての乗船客を対象に避難訓練が実施されます。これは国際海事法によって義務付けられておりますので、必ずご参加ください。

●火災

海上において、火災は最も危険な災害のひとつです。乗船客の皆様の安全のために、以下の項目をお守りください。

- 客室内（バルコニーを含む）での喫煙は禁止です。
- 客室内の照明器具あるいはスプリンクラーのヘッド部分に物を吊るしたり、覆ったりするのはおやめください。
- 客室に備え付けのもの以外で、温度制御機能のないコーヒーポット、アイロン、湯沸かし器、炊飯器および同様の機器はご使用にならないでください。
- キャンドルおよび火を伴う製品の使用は禁止されています。
- 火災を発見した際には、直ちに船内各所に設置されている赤い手動の火災報知器を作動させ、警報を鳴らしてください。
- 客室にはブザーまたは電話回線を使ったシステム、あるいはその両方の音による警報が備わっています。もし室内または客室の近隣で火災が検知された場合、警報装置が作動し、指定された集合場所（マスターステーション）までの避難手順を案内するメッセージが流れますので、直ちにその指示および手順に従ってください。

●一般緊急警報と避難手順

一般緊急警報は、乗船客の皆様を所定のマスターステーションに誘導するために使用されます。マスターステーションは緊急時に皆様にご集合いただく、安全な場所です。マスターステーションの場所は、客室ドアの近くにある「安全に関する注意」に記してあります。一般緊急警報は、船の警笛や警報音によるもので、7回あるいはそれ以上の短い警報に続いて長い警報が1回鳴ります。この警報が聞こえたら、船が航海中あるいは港に停泊中のいずれの場合でも、速やかにかつ落ち着いて客室に戻り、救命胴衣、暖かい服装、頭を覆うもの、歩きやすい靴、服用中の医薬品をまとめてお持ちになり、指定されたマスターステーションにお集まりください。移動の際には、停電になって閉じ込められる恐れがあるため、エレベーターはご使用にならないでください。マスターステーションに到着するまで、救命胴衣は着用しないでください。救命胴衣のストラップを床にひきずると、転倒など思わぬ事故の原因となりますので、お気をつけください。最寄りの非常口がふさがっている場合、客室ドア近くに掲示してある船内案内図に示されている別の非常口をご利用ください。マスターステーションに到着したら、スピーカーからの放送や場内にいる乗務員の指示がよく聞こえるように、静かに落ち着いてお待ちください。お身体が弱く、マスターステーションまでの移動にお手伝いを希望される方は、必要な手配を行いますので、早めに担当のルーム・スチュワードあるいはゲストサービス・デスクまでお知らせください。



安全に関する注意(イメージ)

※記載情報は2023年1月16日現在のものです。内容は予告なく変更になる場合がございます。

●救命胴衣

救命胴衣は客室に収納してあります。お子様や体重が32kg未満の方には特別な救命胴衣をご用意します。救命胴衣が室内にない場合は、担当のルーム・スチュワードにお申し出ください。デッキにあるロッカーには予備の救命胴衣も備えてあります。これらは緊急時に客室に戻れなかったお客様に、乗務員がマスターステーションでお渡しします。

●船から人が落ちた場合

船から人が転落するのを目撃したら、「MAN OVERBOARD(マン・オーバーボード)」(誰かが落水した)と大声で叫んで周囲に知らせてください。また、落下地点が分かるようにすぐ救命ブイ(あるいは水に浮くもの)を投げ、乗務員に目撃したことをお伝えください。

●事故防止対策

以下をご確認ください。

1. 船の動きによって足元が不安定になったり、滑ったりすることがあります。船内を移動する際には十分にお気をつけください。
2. 階段の上り下り、あるいは悪天候のときに船内を移動する際には、必ず手すりにおつかまりください。
3. 開いたドアの枠につかまらないでください。船の動きによってドアが閉まり、手や指をはさむことがあります。
4. レストランなど、一段高くなった着席エリアに出入りする際には足元にお気をつけください。特に照明を落としている時には十分にご注意ください。
5. オープンデッキは、悪天候の時や日々の船内清掃で濡れている場合、滑りやすくなります。こうした場所を歩く際には常にご注意ください。また、ゴム底の靴の着用をお勧めします。
6. 船が縦揺れや横揺れの時には、ゴム底の靴を常に着用してください。また、ショアエクスカージョン(寄港地観光ツアー)にお出かけの際も、ゴム底の靴の着用をお勧めします。
7. お子様を一人にしないでください。
8. 防火扉や屋外のドア、客室内のバスルームおよびその隣接部分など、船内には段差のある場所が少なくありません。高くなった段や敷居は船内のいたるところにあるため、こうした場所を通る時には、足元に十分ご注意ください。
9. エレベーターは自動運転のため、案内係はおりません。閉まりかけた扉の間に手を入れるのは危険です。でおやめください。エレベーター内は禁煙です。
10. 12歳未満のお子様エレベーターを使う時には、大人が必ず同伴してください。
11. ほとんどのドアには自動閉鎖装置が備わっています。ドアを開けて通る時には、ドアを押さえながら、通り抜けてください。
12. どんな場合でも、椅子の上に立たないでください。
13. 乗務員の生活あるいは作業エリアは、いかなる場合であっても立ち入り禁止です。たとえ乗務員に招かれた場合でも、立ち入らないようお願いいたします。ギャレー(厨房)など一部の場所は、特定のガイド付きツアーで見学できる場合があります。詳細については船内新聞「プリンセス・パター」をご参照ください。
14. オープンデッキや客室のバルコニーに付帯した船の手すりに座ったり、立ち上がったたりすることは大変危険です。たとえ身体を支えている場合でも、お子様にこのような真似をさせないでください。
15. プールやスパの周辺エリアは、濡れて滑りやすくなっています。これらの場所では足元に特にご注意ください。
16. 夜間、客室内で移動される時は、つまずく危険がありますので、照明をつけるようにしてください。
17. 屋外でドアを通り抜ける時は、ドアをしっかりと掴んでください。船の動きによってオープンデッキに風が吹き抜けて、ドアが突然閉まる場合があります。

これらの事故防止対策に常にご留意ください。皆様の安全と健康のために、これらを順守いただくようお願いいたします。

●テンダーボートに関する注意

寄港地によっては、ダイヤモンド・プリンセスからテンダーボートでの上陸が必要になる場合があります。テンダーボート責任者の指示にすべて従ってください。安全のため、指示があるまで席にとどまり、テンダーボートの外に手を出さないでください。テンダーボート内は禁煙です。



室内クローゼット上部の救命胴衣(イメージ)